



地域おこし協力隊活動日誌 vol.27

活動開始からあっという間の3か月！

ウミガメ公園で働き始めて、あっという間に3か月が経ちました。最近は普通のウミガメのお世話などの飼育業務以外にも、七夕限定のイベントの開催や、職場体験の受け入れ、井田小学校でのウミガメの授業など、初めて行うこともたくさん経験しました。

小学校での授業は、学生に上手く伝えるためにウミガメについて改めて勉強するいい機会になりました。また、教えることの難しさを感じ



七夕に星型のキャベツを投げ入れるイベントを開催しました

ました。私のたどたどしい授業をウミガメのために小学生が一生懸命メモを取り、質問をする姿勢を見て今年こそは、井田小学校でふ化を成功させたいと思いました。

そのためにも、6月から始まった井田海岸でのウミガメパトロールに力を入れていきたいと思えます。

また、ウミガメ公園では夏休み中のイベントとして、普段は日曜日にしか開催していないウミガメとのふれあいイベントを毎日行う予定です。無料でどなたでもご参加できるイベントですので、気軽にお立ち寄りください。

ウミガメ公園インスタグラムも立ち上げました。これからウミガメのニュースやイベントなどを更新していきたいと思えますので、ぜひ右のユーザーネームからフォローをお願いします。



ウミガメ公園 Instagram

浄化槽は、設置をした後の保守点検、清掃、法定検査といった維持管理が大切です。町営浄化槽事業では、平成20年4月までに設置済みの合併処理浄化槽について、町に維持管理を希望された場合、その浄化槽を町に寄付するという形で浄化槽の所有権を町に移管いただく、「寄付採納制度」を行っています。

寄付の手続きをとっていただく、同事業で設置した浄化槽と同じく、使用料を負担いただきながら、清掃や保守点検、法定検査などの維持管理を町が行っていきます。

浄化槽の寄付を希望される方は、まず、役場環境衛生課に連絡いただく、担当職員が申請書を持って説明に伺います。その時に、直近の浄化

寄付直前の清掃は申請者の負担です

浄化槽の寄付は清掃時期にあわせて申請を

シリーズ 浄化槽 きれいな川を 未来に残そう その144


槽の保守点検の状況や法定検査の受検結果を確認させていただきます。

申請書提出後は、保守点検業者と担当職員で、浄化槽やプロアーが正常に機能しているかを確認し、その

後、申請者の負担で最終清掃（全量くみ取り）を行っていただき、寄付採納という形になります。

▼詳しくは、役場環境衛生課（☎33-0338）までお問い合わせください。

何でも聞いてください！



環境衛生課 中野良太

町営浄化槽のここがポイント!!

修繕をお願いすることも

寄付の申請があると、町職員と維持管理を行っていく保守点検業者で浄化槽の状態の確認を行います。

その際に、浄化槽本体やプロアーなどに不具合があると、寄付の決定を行う前に申請者の負担で修繕をお願いする場合がありますので、ご理解ください。

Police 紀宝警察署 からのお知らせ

三重県警察官、警察事務官を募集！

あなたも、ともに助け合い、三重のまちと人を守る警察官を目指しませんか。

受験案内・申込書は、紀宝警察署・交番・駐在所で配布しています。



【受付期間】 7月26日（金）～8月26日（月）
 ※警察官と警察事務官の併願可能
 ▶詳しくは、三重県職員採用案内 HP (<http://www.pref.mie.lg.jp/saiyo/>) まで

紀宝警察署（☎33-0110）

Resources ごみは資源 のコーナー

小さな紙でも、「紙資源」


「燃料ごみ」として出されている袋のなかに、メモ帳、封筒、はし袋、お菓子やタバコの箱などが入っていることがあります。

これらの小さな紙類でも分別することで紙資源として再利用することができます。

ごみの減量のため、ご協力をお願いします。

お願い♪

小さな紙類は、封筒などにまとめて入れて、分かりやすい部分に「紙資源」と書いて「資源の日」に出してください



このお兄さん 小川 幸子

役場環境衛生課（☎33-0338）

Pet シリーズ ペットと暮らす その13 ~いつまでもいっしょに~

今月のテーマ 犬は熱中症に弱い生き物です



犬 は人間のよう大量に発汗して体温を下げ、体温調節をすることができません。また、人間と比べて地面からの距離が近いので、アスファルトなどの照り返しを直接浴びることになります。

そのため、人間にはちょっと暑いかなと感じる程度の気温でも犬にとってはかなりの負担となります。

日差しが強い日、気温や湿度が高い日、また運動しすぎたことなどにより、犬が「ぐったりしている」「息苦しそう」「食欲がなさ」「ぐちゃぐちゃしている」「普段よりもよだれが多く出ている」といった症状が出たら要注意です。

このような行動は愛犬からの熱中症のサインかもしれません。応急処置として涼しい場所に移動させたり、全身や首、脇、後肢の付け根を冷やしたりしてください。呼びかけに反応する場合は水を飲ませることも有効な方法です。

また、熱中症は多臓器機能障害を引き起こすおそれがあるため、いったん様子が落ち着いたように見えても動物病院で診てもらおうようにしましょう。